

東京都あきる野市で行われた「ドローン実証試験」に協力

東京都が災害時を想定し、小型無人機「ドローン」から空撮映像を即時に伝送し防災に役立てようとする実験が2017年5月22日、あきる野市で行われた。弊社は映像伝送担当として協力しました。

弊社でドローンからの映像、最前線基地に設置した定点カメラ映像などを、遠く離れた防災本部の指示を受けながら、映像をスイッチングし、また必要な情報をテロップで加えるという、簡単なその場編集可能な映像伝送システムを提供しました。

会場は、廃校を利用した研修施設「戸倉しろやまテラス」。対策本部が「ドローンによる孤立住民の捜索を始めてください」と発令すると、校庭から空撮用のドローンが離陸。校舎裏の孤立地帯を撮影し、映像が本部のモニターに映し出されました。

その後、支援物資搬送の実験も行われた。孤立地帯と見立てた校庭に別のドローンが飛来し、水や食料などを詰めた箱を落として、再び離陸して行きました。



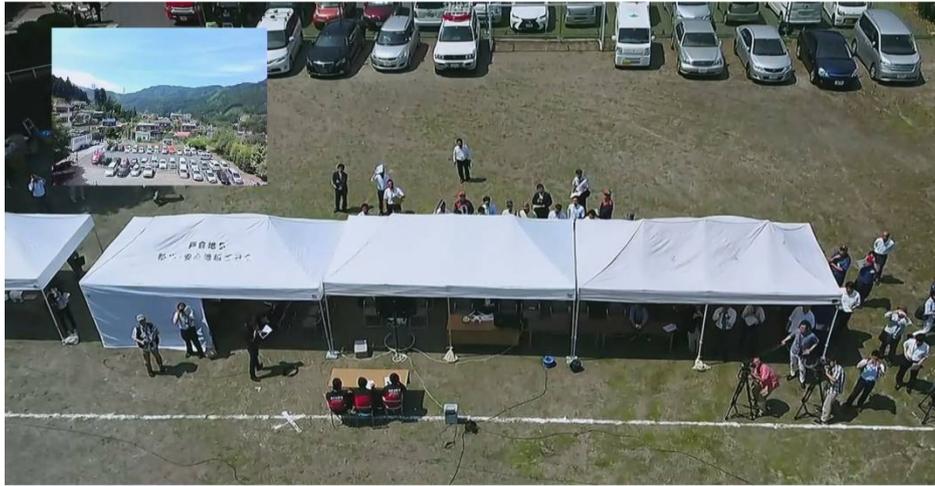
映像伝送システム（CSFHD）準備中



離陸するドローンと定点カメラ



ドローンの操縦



ドローンからの映像



ドローンからの映像



ドローンからの映像

CSFHD からのスナップショット